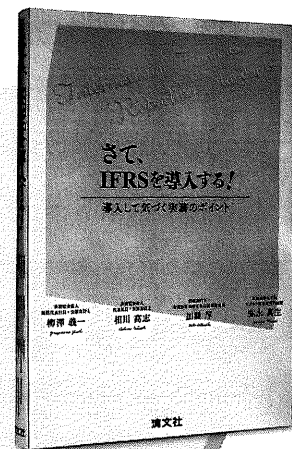


さて、 IFRSを導入する!

導入して気づく実務のポイント



新創監査法人 統括代表社員・公認会計士 柳澤義一 / 新創監査法人 代表社員・公認会計士 相川高志
公認会計士・企業会計基準委員会前副委員長 加藤 厚 / 筑波大学大学院 ビジネス科学研究科教授 弥永真生

■四六判332頁/定価:本体 2,400円+税

中堅上場企業と中小監査法人による、 『IFRSへの挑戦』!! だからこそ気づく導入実務のポイント!

IFRS導入事例について、導入のプロセスとその過程で得られた実践ノウハウを解説。どのように計画・実行し、その成功ポイントはどこにあったのかを詳細に解説。

▶ 主要目次

第1編 IFRSを巡る内外の動向と今後の展望

- 第1章 IFRSの意義と国際的展開
 - 1. 会計基準の国際的統一の必要性の認識
 - 2. 国際会計基準策定の黎明期
 - 3. 新しい時代へのIASB第1期の展開
 - 4. 更なる発展を目指してのIASB第2期の展開 他
- 第2章 日本におけるIFRS導入の経緯
 - 1. 中間報告(ロードマップ)と任意適用の開始
 - 2. 強制適用の是非判断の棚上げと任意適用の推進
 - 3. 当面の方針
 - 4. 連結財務諸表規則及び財務諸表等規則などの改正 他
- 第3章 IFRSと日本基準との関係
 - 1. 東京合意とコンバージェンス・プロジェクト
 - 2. EUによる同等性評価と東京合意
 - 3. ASBJとIASB、FASBとの定期協議
 - 4. 単体検討会議
 - 5. アドプションへのうねりとその問題点 他
- 第4章 日本及び海外企業によるIFRS導入の実態
 - 1. 日本企業によるIFRS任意適用の実態
 - 2. 世界各国におけるIFRSの適用状況
 - 3. 米国におけるIFRSの適用状況
 - 4. EUにおける強制適用
 - 5. アジア、オセアニア地域におけるIFRSの適用状況

▶ 本書の構成

- 第1編 国際会計基準委員会設置以来、約40年間の世界の動向及び日本の動向を振り返り、現状分析とこれからの展望について解説。
- 第2編 実際のIFRS導入事例をもとに実際に行った作業内容や苦勞した点などを解説。
- 第3編 実際にIFRSを導入して気づいた、導入をスムーズに実行するためのポイントを当事者の視点から解説。

第5章 今後のIFRSのあり方と将来の展望

- 1. 日本における今後の展望
- 2. 米国における今後の展望

第2編 IFRS導入の実録

第3編 IFRS導入してはじめてわかった実務上のポイント

第1章 IFRS導入手続のポイント

- Point 1 本書が対象として想定する会社のタイプとIFRS導入の作業工程
- Point 2 IFRS導入の検討
- Point 3 IFRS導入した場合のメリットの検討
- Point 4 IFRS導入による影響が大きい会社とは、影響が小さい会社とは 他

第2章 導入に際し、具体的な会計処理における主な検討ポイント

- Point 1 有形固定資産関係
- Point 2 棚卸資産関係
- Point 3 収益の計上
- Point 4 その他の資産、負債の論点
- Point 5 その他の論点: 連結の範囲、企業結合、関連会社、後発事象

第3章 実感、上手に導入するための本音のポイント